

飛鳥資料館 春期特別展「文化財を撮る—写真が遺す歴史」

文化財を守り、伝えるうえで、文化財写真は重要な役割を担っています。奈良文化財研究所では、様々な文化財の調査研究にあたり、多くの写真を撮影し、学術情報として保存してきました。

今日では、文化財を撮影した写真そのものが、歴史資料として文化財の範疇に加わるようになりました。既に失われてしまった文化財や、地中に埋め戻された遺跡の様相、文化財の経年変化を記録した写真は、実物にも匹敵する資料といえます。いっぽうで、文化財の新たな魅力や、文化財への新たな視点を引きだす鑑賞用の写真も、文化財写真の技術者たちの腕の見せ所です。

また、近年の技術革新の波は、フィルムカメラからデジタルカメラへの急激な移行を迫っています。奈文研では、フィルムのデジタルアーカイブの作成等、写真資料の残し方の研究も進めています。

文化財の魅力を多くの人々、そして未来に伝える文化財写真。本展覧会では、文化財写真の歴史と技術の展示を通して、その価値と面白さをご紹介します。（飛鳥資料館 西田 紀子）



会 期：4月26日(火)～7月3日(日) 月曜日休館、ただし5月2日(月)は開館

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

講演会：5月28日(土) 14:00～ 「飛鳥の文化財を撮る眼(仮)」 講師：井上直夫 於：飛鳥資料館講堂(事前申込不要)

イベント：なりきりカメラマン—文化財写真技師の仕事体験 6月24日(金) 10:00～、13:30～、於：飛鳥資料館講堂

※イベントは事前申込制、申込方法等の詳細は飛鳥資料館ホームページ・チラシをご覧ください。

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問い合わせ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

平城宮跡資料館 大型デジタルサイネージ設置

平城宮跡資料館では、2015年11月より入口付近に大型のデジタルサイネージを設置し、奈良文化財研究所公式facebookページの記事を公開しています。奈文研が主催する講演会やシンポジウム等のイベント案内をはじめ、現地説明会等の報告、「コラム作寶樓」や読売新聞に連載中の「探検！奈文研」、桜の開花の様子等、平城宮跡の季節の情報を週に一度のペースで更新しています。奈文研の多岐にわたる活動や、お問合せの多かった平城宮跡の旬の情報等最新の状況をお知らせできるようになり、好評をいただいています。



デジタルサイネージ(右側)

資料館を訪れた際には、ぜひデジタルサイネージで奈文研の最新情報をチェックしてみてください。（企画調整部 中村 玲）

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

休 館 日：月曜(月曜が祝日の場合は翌平日休館)

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/> お問い合わせ：☎0742-30-6753(連携推進課)

■ お知らせ

飛鳥資料館春期特別展

2016年4月26日(火)～7月3日(日)

「文化財を撮る—写真が遺す歴史」

■ 記 録

文化財担当者研修(専門研修)

○遺跡等環境整備課程

2016年1月12日～1月22日 14名

○保存科学Ⅲ(応急処置)課程

2016年2月15日～19日 9名

文化財担当者研修(特別研修)

○埋蔵文化財デジタル写真研修

2016年3月8日～11日 16名

平城宮跡資料館ミニ展示

(第I期)2015年12月5日(土)～1月31日(日)

「発掘速報展 平城2015」 10,003名

飛鳥資料館冬期企画展

「飛鳥の考古学2015—飛鳥の古墳調査最前線—」

2016年1月29日(金)～3月6日(日) 2,504名

現地説明会等

○平城第552次発掘調査 現地見学会

平城京朱雀大路跡

2016年3月5日(土) 680名

■ 最近の本

○海野 聡

『奈良時代造営建築と維持管理』

吉川弘文館 2015年11月

○第18回 古代官衙・集落研究会報告書

『官衙・集落と土器Ⅰ』

(株)クバプロ 2015年12月

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2016年3月